

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定7

千葉県立松戸南高等学校 三部制の定時制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校を志願する動機及び理由が適切であり、自分の将来に向けて目的意識を持って学習及び学校生活に意欲的に取り組む者で、本校で主体的に学ぶ能力及び適性を有し、次のア及びイの要件を満たすもの。

- ア 三部制の定時制の特性を踏まえ、自己実現に向けて有効に時間を活用する意欲があること。
- イ 二学期制及び単位制の利点を生かし、主体性を持ち、学習に取り組む意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接
(4) 小論文	検査時間40分・字数301字以上600字以内
(5) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	① 皆勤,精勤(3年間で3日以内の欠席)は,審議の中で評価する。 ② 長欠等については審議対象としない。
ウ 行動の記録	〇が一つもない場合は,審議の対象とする。
エ 特別活動及び部活動の記録	生徒会活動で,特に積極的に取り組んだと認められる記述について,審議の中で評価する。
オ 総合所見	問題となる点があれば,参考とする。

(3) 面接〔100点満点〕

2名の評価者が、次の五つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(特に優れている)・b(特に問題はない)・c(問題がある)の3段階で評価する。2名の評価者による評価項目ごとの評価の組合せ(aa～cc)で得点化し、合計する。評価cが一つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望理由	志望動機が明確である。
イ 抱負	高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 日常生活	日常の生活がきちんとしている。
エ 社会問題	社会問題についてしっかりと考えている。
オ 面接態度全般	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 高校生活に取り組む姿勢として適切である。

(4) 小論文[50点満点]

3名の評価者が、次の二つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、アについてはb(過不足なし)・c(過不足あり)・d(無回答)の3段階、イについてはa(優れている)・b(標準である)・c(問題がある)の3段階で評価し、各評価者の評価の組合せごとに4段階(A~D)で評価する。3名の評価者による評価項目ごとの評価の組合せ(AAA~DDD)で得点化する。3名の評価の中にCが二つ以上又はDがある場合は審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容及び表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字・脱字や文法の誤りがない。

(5) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願の理由	本校入学の意志について確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等について、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査(面接・小論文)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査 の成績	調査書の得点	第2日の検査の得点		総得点
	評定(算式1)	面接	小論文	
500点	(135 + α - m)点	100点	50点	(785 + α - m)点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m: 中学校評定合計平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいはしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。